

教育と文化



人生百年時代。

『あなたらしく、私らしく、よいよく生きるために』

● 問合先 企画政策課

男女協働推進係 ☎2115

時代の変化、世の中の変化に、男女協働参画の問題も大きな影響を受けてきました。

長引くコロナ禍の今、課題は山積みとなっています。なかでもDV（ドメスティックバイオレンス）の急増は深刻です。毎年、全国の相談件数は数百数千の増減はあったものの、令和2年度は前年度の1.6倍、19万件を超え、過去最多となりました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による社会的ストレスや外出自粛、テレワークなどの影響で、在宅時間が増加したことが原因と考えられています。家族の安らぎの場である家庭が仕事場と化し、外出による変化がなくなったことが一因であると考えられます。

一方、通勤に要する時間がなくなったことは、家事育児時間にゆとりを生み、働き方

改革の視点からは、好結果が得られたようです。

また、新型コロナウイルス感染症感染拡大の長期化で、新しい問題や、拡大してしまった問題もあります。

収入減により生理用ナプキンが買えない女性の『生理の貧困』、ひとり親家庭の貧困、児童虐待、小中高生の自傷、自殺、高齢者の孤独死など、身近な問題ばかりです。

このような時代だからこそ、一人一人が出来ることに目を向けて、よりよい生き方について考える必要があるのではないのでしょうか。みんなが支え合って、助け合って。あなたらしく、私らしく、すべての人が輝く伊万里を目指しましょう。



郷土の文化財

伊万里の遺構シリーズ「埋葬遺構を中心として」⑩

● 問合先 生涯学習課文化財係 ☎1262

小島古墳の石室

（山代町久原 昭和47年調査）

小島古墳の石室は5月号で紹介した夏崎古墳と同じ横穴式石室のタイプですが、規模が大きく、形もかなり違っています。【図1】は石室の床の平面図と石室を横から見た断面図です。

遺体を納める玄室の長さは約3.5m、最大幅約3.5mです。横壁（側壁）は腰石と呼ばれる大きな石を据え、その上には割石を平積みにし、ドーム状に積み上げており、天井までの高さは3.8mあります。人物の身長は約1.70mなので、天井が高いのがよくわかると思います。

石室に使われた石の一部は砂岩もありますが、ほとんどが玄武岩です。しかし、小島は砂岩で形成される島なので、この島では玄武岩

は産出されません。

そのため、小島古墳に埋葬された人物は、大勢の人間を使って、小島以外の場所から玄武岩を舟に乗せ、小島まで運び、さらに島の頂上へ運び上げ、石室や古墳を造り上げることができ、強い権力を持った人物であったと考えられます。小島古墳の築造年代は6世紀中頃と考えられています。

